



No.48

平成30年1月23日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



クラフト工房 アトリエ Cocolo

Contents

新年のご挨拶	議長年頭挨拶	2
中央要望について	国・国会議員に要望活動	3
12月定例会	条例改正・補正予算など	4
一般質問	町政運営について など 3人登壇	9
活動報告	議会報告会など活動状況	12



新年のごあいさつ



おおい町議会議長
浜上 雄一

明けましておめでとございます。
町民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと、心より慶び申し上げます。

年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新春のご挨拶を申し上げます。また、旧年中は、議会に対しまして格別のご理解、ご指導を賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、振り返り見ますと、全国各地で集中豪雨をはじめ自然災害が数多く発生し、本町でも台風21号により合併後初めての避難指示が発令されましたが、幸いにも人的被害が発生せず、胸をなでおろしております。また、関西電力(株)大飯発電所3・4号機の再稼働に対する意見集約に

よる再稼働同意判断や1・2号機の廃炉決定など原子力政策に関して大きな出来事がありました。

議会においては、変化し多様化する社会・経済情勢を的確に把握し、町民生活の安心・安全のため、皆様のご意見を拝聴し、前例に縛られることなく、創意工夫を重ねて参ります。

皆様と共に「協創」による町政運営への参加や、町民と行政のかけ橋として、住んでよかったと実感できる町とするために、必要かつ価値のある政策を見極め、皆様の負託にこたえるため、理事者と綿密な連携を図り対応して参りたいと考えております。

今後も、議員一同全力で取り組んでいく所存でありますので、皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が活力にあふれ、町民の皆様が幸多きすばらしい年になりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



全協議員会 大飯発電所1・2号機廃炉について

12月22日の全員協議会において、関西電力(株)から、「大飯発電所1・2号機の廃炉決定」についての報告を受けました。

廃炉決定の経緯

大飯発電所1・2号機は、「国内唯一のアイスコンデンサ方式のプラント」で特徴として格納容器が非常にコンパクトな設計になっています。

運転延長に向け、新規制基準を満たすために事業者は技術的な検討を行ってききましたが、対応するためには格納容器の壁厚を大幅に厚くする必要があります、さまざまな設備を追加する必要がありますため、再稼働後の過酷事故が起こった場合や保守点検の作業対応が困難であ

り「安全性・保守を最優先に考えた結果、廃炉という決定を行った」ということでした。

今後について

- ・安全かつ着実な廃止措置の実施
- ・中間貯蔵施設の福井県外立地
- ・廃止措置に伴う放射性廃棄物の処理
- ・地元企業の発展、雇用の促進

議会としては、今回の報告を受けて、今後の対応などについて慎重に協議して参ります。

中央要望活動

年頭あいさつ

中央要望

審議内容

一般質問

活動報告

町の重点課題解決のため、県選出国会議員や、国の関係省庁への要望活動を行いました。

【期日】平成29年11月30日
12月1日

■要望先

山崎正昭 参議院議員
山本 拓 衆議院議員
高木 毅 衆議院議員
稲田朋美 衆議院議員
滝波宏文 参議院議員
斉木武志 衆議院議員
内閣府
経済産業省資源エネルギー庁
原子力規制委員会



高木毅衆議院議員と経済産業省へ要望

■要望事項

1. 原子力政策一元管理責任の確実な遂行について

「原子力政策は国が一元的責任を負う」ことから、更に前面に立ち、リーダーシップを発揮し、舵取りを行って頂きたい。

原子力政策について

「エネルギー基本計画」において「重要なベースロード電源」と位置づける原子力発電の重要性、核燃料サイクルなど、国民理解を得る取り組みと、交付金の柔軟な運用改善

使用済核燃料等について

放射性廃棄物の中間貯蔵施設、最終処分場などの課題への積極的な関与

2. 原子力防災対策の充実について

実効性のある災害制圧と避難体制の構築

原子力災害制圧道路の早期整備および橋梁の新設について

青戸の入江に架かる新たな橋梁の建設計画と、災害に強い道路整備

原子力総合防災訓練の充実について

過去の訓練の課題精査や、実効性のある広域避難訓練実施と、関係自治体住民の理解促進

安定ヨウ素剤の配布体制強化について

町内全域で、避難者への配布体制の構築

医療体制の充実について

災害時の医療体制強化・充実への支援

地域支援策について

長期稼働停止による雇用や地域経済への支援策と、将来施策の構築

3. 生命生活避難道路網の早期整備について

喫緊の課題である広域的で多重化した道路網の整備

- ・舞鶴若狭自動車道の4車線化
- ・主要地方道坂本・高浜線の早期完成

- ・一般県道岡田・深谷線の早期開通

- ・国道162号（深谷・相生間）道路整備の早期完成

- ・主要地方道小浜綾部線の早期整備と国道昇格

■要望者

浜上雄一 議長
今川直樹 副議長
尾谷和枝 総務常任委員長
猿橋啓一 産業建設常任委員長
森口精治 予算決算常任委員長
中本茂 原子力発電対策特別委員長



内閣府へ要望

平成29年 第6回(12月) 定例会 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
承認 4	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度一般会計補正予算(第4号))	〈全協〉	承認	P5
承認 5	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度一般会計補正予算(第5号))		承認	
承認 6	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号))		承認	
承認 7	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号))		承認	
議案51	一次産業活動拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	〈産建〉	原案可決	P6
議案52	ケーブルネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	
議案53	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案54	町税条例等の一部改正について		原案可決	
議案55	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案56	子育て支援医療費助成に関する条例等の一部改正について	〈産建〉	原案可決	
議案57	町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例及び町営本郷土地改良事業に要する経費の賦課徴収に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案58	町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		原案可決	P6～P7
議案59	平成29年度一般会計補正予算(第6号)	〈予算〉	原案可決	P7
議案60	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		原案可決	
議案61	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)		原案可決	
議案62	若狭地区介護認定審査会共同設置規約を廃止する規約の制定に関する協議について	〈総務〉	原案可決	
議案63	指定管理者の指定について(うみんぴあ大飯賑わい創出施設)	〈産建〉	原案可決	
議案64	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〈全協〉	原案可決	P8
議案65	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案66	平成29年度一般会計補正予算(第7号)		原案可決	
議案67	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		原案可決	
議案68	平成29年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第2号)		原案可決	
議案69	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案70	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)		原案可決	
議案71	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案72	平成29年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決		
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣	—

※略称 〈全協〉 議員全員協議会、〈総務〉 総務常任委員会、〈産建〉 産業建設常任委員会、〈予算〉 予算決算常任委員会
〈原特〉 原子力発電対策特別委員会

6回例会
第6例
台風21号による
災害復旧事業費などを審議

審議内容

定例会で付議された、承認4件、議案22件を審査した。

●承認4号〈全協〉

〔平成29年度おおい町一般会計補正予算(第4号)〕

10月22日投開票の衆議院議員選挙における事務事業費を*1専決処分したことの承認。

1520万円増額

【全会一致・承認】

●承認5号〈全協〉

〔平成29年度おおい町一般会計補正予算(第5号)〕

●承認6号〈全協〉

〔平成29年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)〕

●承認7号〈全協〉

〔平成29年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)〕

10月22日〜23日未明にかけて当町に接近した、台風21号の影響で被災した箇所が、復旧を専決処分したことの承認。

3会計合計

1億8298万円増額

主な質疑

問 金網柵の土砂撤去が含まれているが、撤去となる基準は。

答 金網柵が土砂の流入により破壊された箇所等、獣害柵としての機能が發揮できない箇所と考えている。それ以外の箇所は地元での対応をお願いする。

問 五波峠の復旧工事について、今回は

工事設計となっているが、具体的に復旧するのはいつごろと考えているか。

答 大きく崩壊していることから、復旧完了時期は未定である。重要な路線ということは認識しているため、早期復旧に向けて努力する。



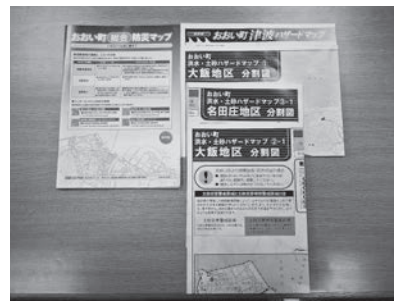
五波峠(名田庄染ヶ谷)の崩落現場

問 今回の台風で多くの法面などの崩落が見られる。防災マップと照らし合わせて検証はしたのか。

答 現段階では防災マップとの照らし合わせはできていないが、検証し、必要であれば見直すことを検討する。

また、それにより防災マップの見直しも必要ではないか。

答 本郷青戸区の海岸が来るたび、道路に海からのゴミが散乱するため、新たな防潮堤整備や、既存の防潮堤高上げの必要があると考えている。今後の検討課題とした。



問 本郷青戸区の海岸が来るたび、道路に海からのゴミが散乱するた

答 そのような箇所は緊急に復旧したあと、県と協議し本復旧したいと考えている。しっかりと取り組んでいきたい。



台風21号通過後の状況

問 災害を防止するために行った補強工事箇所が、今回の大雨で崩壊している。そのような箇所が町内にも沢山あるのでは。

答 災害のたびに、川に堆積する土砂を*2浚渫している。県に要請し

て抜本的な対策を求める必要があると考えているが、砂防施設等を事業化するにあたり、クリアする課題はあるが、地元からの要望も聞いており、県と協議をしていく。

問 佐分利川の広岡頭首工復旧工事について、河川管理は県になるため、県の発注工事になるのでは。

答 平成26年度に県営事業として施工したが、その後の管理は町が行っているため、今回の復旧工事は町が行うこととなる。

【全会一致・承認】

*1 専決処分

議会が決定すべき事項を、緊急を要する特定の場合に限り、地方公共団体の長が議会に代わって処理すること。

*2 浚渫(じゅんせつ)

水底の土砂を掘取り、運搬処分する作業。

年頭あいさつ

中央要望

審議内容

一般質問

活動報告

●議案51号〈産建〉

【お問い合わせ】 一次産業活動拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について

旧大島公民館を改修して設置する「一次産業拠点施設」の管理や運用方法を定めるもの。

主な質疑

【問】 この施設利用の承認方法は。

【答】 利用申込書を提出していただき、審査して承認する。

【問】 指定管理者は募集しないのか。

【答】 新たに運営する施設となるため、数年間は町で運営し、必要経費や運営形態が固まってきたら指定管理としたい。

【問】 夜間の警備体制はどうなるのか。

【答】 夏休み期間などには、夕方5時半から翌朝8時半まで宿直を置く。

【全会一致・可決】

●議案52号〈総務〉

【お問い合わせ】 ワーク施設及び管理に関する条例の一部改正について

小堀地係の受信点施設を廃止し、青戸付近の施設を受信点とするもの。

【全会一致・可決】



受信点施設

●議案53号〈総務〉

【お問い合わせ】 育児休業等に関する条例の一部改正について

非常勤職員の、1歳6カ月までの育児休業を、特別な理由がある場合、2歳に達するまでに変更するため、改正するもの。

主な質疑

【問】 子育てにやさしいまちづくりを目指すのであれば、民間企業にも波及していくような働きかけが必要では。

【答】 民間企業の育児休業制度については承知していない。民間を含めた町全体の子育て支援が重要であるとの指摘を受けとめ取り組んでいく。

【全会一致・可決】

●議案54号〈総務〉

【お問い合わせ】 一部改正について

国の控除対象配偶者の定義変更及び軽自動車税の種別割導入に伴い、改正するもの。

【全会一致・可決】

●議案55号〈総務〉

【お問い合わせ】 保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

保育園・認定こども園を利用する際に使用する支給認定証は、保護者から申請があった場合にのみ発行することとなったため、改正するもの。

【全会一致・可決】

●議案56号〈総務〉

【お問い合わせ】 療費助成に関する条例等の一部改正について

※1 現物給付方式での子ども医療費助成が福井県下で導入されることに伴い、改正するもの。

主な質疑

【問】 ※2 償還払い方式から現物給付方式に変更した場合の、減額調整措置分、いわゆるペナルティー分は県が負担してくれるのか。

※1 現物給付方式
…窓口無料化
※2 償還払い方式
…後日還付

【答】 就学前の子ども対象の減額調整措置は4月から国が廃止し、中学3年生までの対象分は県が全額負担する。

【問】 身体障がい者に対しても同様にしていく必要があるのではないか。

【答】 重要な指摘であるが、現在は制度化されていない。今後、検討されるように町から県に対し、要請を行っていく。

【全会一致・可決】

●議案57号〈産建〉

【お問い合わせ】 町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例及び町営本郷土地改良事業に要する経費の賦課徴収に関する条例の一部改正について

土地改良法の改正に伴い、引用条項の変更を行うもの。

主な質疑

【問】 土地改良事業にかかる償還賦課金の徴収はいつまで続くのか。

【答】 大飯第二土地改良区の償還賦課金が残っている期間継続する。

【全会一致・可決】

●議案58号〈産建〉

【お問い合わせ】 公営住宅法の改正と、町営長井住宅の改修に伴い、変更を行うもの。

主な質疑

【問】 長井住宅の家賃は、今回変更されるのか。

【答】 家賃を算定する基礎数値が建て替えにより変わるため、家賃も変わることとなる。

【問】 収入超過者に関する認定は、合算する所得金額が128万8千円を超えれば誰もが対

象となるのか。

対象となる。

答

【全会一致・可決】



完成間近の長井町営住宅

■平成29年度12月補正予算

●議案59号〈予算〉

〔平成29年度おおい町一般会計補正予算（第6号）〕

2862万1千円増額

【主な歳出内容】

○行政事務オンラインシステム管理事業

マイナンバーを使用し

た他団体との情報連携事務について、データ標準

レイアウトの改版を委託するもの。

108万4千円

○ふるさと納税推進事業

ふるさと納税寄付金の見込額の増により、寄付者への返礼品に要する経費等を追加するもの。

390万2千円

○防災対策事業

内閣府による「大飯地域の緊急時対応」の策定に伴い、住民避難マニュアル（原子力災害）にその内容を反映し、改定・印刷を行うもの。

448万2千円

○戸籍住民基本台帳事務

マイナンバーカードや住民票の写し等に旧姓を併記できるようにシステム改修を行うもの。

164万2千円

○除雪対策事業

除雪機械のリース代を追加するもの。

120万2千円

【主な質疑】

問 住民避難マニュアルの改訂版の配付について、既に配付されているものと混乱する恐れはないか。

答 改訂版は区別がつくように色を変えするなど目立つ工夫をしていきたい。

問 ふるさと納税の返礼品の率について、県内自治体の状況はどうか。

答 返礼率は県内全て3割以下で、全国的にもほとんどの自治体が3割以下である。

問 除雪機械の状況は。

答 大飯地域27台、名田庄地域15台、合計42台。うち、22台が町からの貸与である。

【全会一致・可決】

●議案60号〈予算〉

〔平成29年度おおい町介

護保険事業特別会計補正予算（第2号）〕

263万7千円増額

【主な歳出内容】

○電算処理委託料
30年度の介護保険制度改正等に伴いシステムの改修を行うもの。

183万6千円

【全会一致・可決】

●議案61号〈予算〉

〔平成29年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）〕

140万4千円増額

【主な歳出内容】

○維持補修工事請負金
大島簡水第3貯水槽の水位計取替工事。

140万4千円

【全会一致・可決】

●議案62号〈総務〉

〔若狭地区介護認定審査会共同設置規約を廃止する規約の制定に関する協議について〕

30年度より若狭広域行政事務組合において介護認定審査会を行うことに伴い、若狭地区介護認定審査会を廃止するもの。

主な質疑
問 この審査会が若狭広域行政事務組合に移ることによって、審査の基準が変わるといことはないのであるか。

答 国の指針に基づいて審査が行われるため、同じ基準である。

【全会一致・可決】

●議案63号〈産建〉

〔指定管理者の指定について（おおい町うみんぴあ大飯賑わい創出施設）

おおい町うみんぴあ大飯賑わい創出施設の管理を指定管理者に行わせるもの。

【主な質疑】

問 建物の中に観光協会が入っているが、指定管理者との関係

はどのようなものか。

答 建物管理の指定を受けた（株）おおいから委託により、観光協会が業務を行う形態とする計画である。

問 「おおい町公の施設指定管理者選定審議会」の意見書で、採点結果は74・8であるがその採点方法は。

答 この点数は、町が基準に基づき算出した数値であり、優れていると判断される数値は70以上となる。

【全会一致・可決】



うみんぴあ大飯賑わい創出施設（道の駅）

年頭あいさつ

中央要望

審議内容

一般質問

活動報告

●議案64号〈全協〉

【おおい町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について】
特別職職員の期末手当の率を変更するもの。

【全会一致・可決】

●議案65号〈全協〉

【おおい町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について】
人事院勧告に伴い国家公務員に準じて給料表、諸手当額を改定するもの。

【全会一致・可決】

●議案66号〈全協〉

【平成29年度おおい町一般会計補正予算（第7号）】
人事院勧告に伴う給与改定に必要な人件費の増額を行うもの。（以下、特別会計補正予算も同様の理由による）

788万円増額

【全会一致・可決】

●議案67号〈全協〉

【平成29年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）】
5万7千円増額

【全会一致・可決】

●議案68号〈全協〉

【平成29年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第2号）】
32万3千円増額

【全会一致・可決】

●議案69号〈全協〉

【平成29年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）】
18万5千円増額

【全会一致・可決】

●議案70号〈全協〉

【平成29年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）】

9万4千円増額
【全会一致・可決】

●議案71号〈全協〉

【平成29年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）】
9万5千円増額

【全会一致・可決】

●議案72号〈全協〉

【平成29年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）】
13万4千円増額

【全会一致・可決】

原子力発電対策特別委員会

12月11日に原子力発電対策特別委員会を開催し、関西電力(株)より、大飯原子力発電所3・4号機の使用前検査についての説明を受けました。

発電所を再稼働させるためには、原子力規制委員会による使用前検査をすべて完了する必要があります。

使用前検査事項

1号検査 ▼検査中

構造、強度または漏えいに係る試験ができる状態になったときに建物・構築物構造検査、状態確認検査

2号検査 ▼検査完了

蒸気タービン車室の下半部の据付が完了したとき及び補助ボイラーの本体の組み立てが完了したときに行う建物・構築物構造検査、状態確認検査

3号検査 ▼検査中

発電用原子炉に燃料体を挿入することができるとなったとき行う核燃料物質の取り扱い施設及び貯蔵施設等に係る機能・性能、特性、状態

確認検査

4号検査

発電用原子炉の臨海反応操作を開始することができる状態になったときに行う発電用原子炉に燃料を挿入した状態での核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設等に係る機能・性能、特性、状態確認検査

5号検査

全ての工事が完了したときに行う総合的な機能・性能、特性、状態確認検査

使用前検査完了が当初予定より2カ月遅れ、再稼働時期が3号機で4月中旬、4号機は6月中旬の見込みとなっております。

遅れる理由は、神戸製鋼所のデータ改ざん等の不適切行為について、発電所に影響がないかを独自調査するためと、説明を受けました。

また、三菱マテリアル子会社の不正問題に対しては、現在調査中であるため、詳細が分かり次第、議会に報告を受けることを確認しました。

町政二つが聞きたい!

12月定例会では、3人の議員が一般質問を行いました。

任期満了に伴う町長の進退は

町長 引き続き町政を担っていききたい



細川 正博

問

町長就任から3年9カ月が経ち、残る任期はあとわずかとなった。今までを振り返っての自己評価は。

答

「より身近な町長」を目指し、「今を安心して暮らせるまちづくり」と「将来に夢のひろがるまちづくり」の二つを大きな柱とし、民意を町政に反映させるため「町長と語る会」や各種団体等との懇談に前向きに取り組んで

きた。

また、施政方針の核となっている「住民参加型まちづくり」や「担い手と受け手の垣根を超えた協働・協創」については取り組みとしての方向性は間違っていないと確信している。

問

「協働」について、町長自身が、まちと町民が協力して活動する場へ行き、そこでの意見交換等をもっと積極的に行うべきであったのでは。

答

「町長」でできる限り多くの声を町政に反映させたい」という気持ちをもって公務を遂行してきたが、より多く

の現場で声を聴くという点においては、足りていなかったと感じている。

問

立地自治体のトップとして、大飯原子力発電所3・4号機の再稼働判断を行ったが、どのような思いがあるのか。

答

「原子力政策に関する住民説明会」等を通じて住民の理解を確認し、事業者や国の姿勢も併せて確認したうえで判断を行った。引き続き関係機関と連携し、安全を最優先に取り組む。また、今後の課題として、原子力防災における広域避難計画やインフラ整備については重要

であると認識している。

問

町長の考える、おい町が進むべき道や将来の展望は。

答

「町長」地域間競争に埋没することなく、持続的な町の繁栄のため、原子力との共存と共生に加え、さまざまな分野の垣根を越えて「協働・協創」を実現するため挑戦し、※田園回帰を真剣に考えることで、より発展するチャンスがあると考える。

そのためには、住む人たちが地域に愛着と誇りをもって、世代を問わず元気に楽しく生活し、活動することが非常に重要だと考える。

町長の進退は。

問

答

「町長」「協働・協創・挑戦」を施政方針の要として、住民参加型のまちづくりをより一層推進し、町の元気を

創出していく途上にあるため、引き続き町政を担っていききたい。

観光資源の発掘について

問

観光資源を発掘するため、どのような施策を行っているのか。

答

「町長」「京都学園大学」や「近畿大学」と包括連携協定を締結し、さまざまな取り組みを行っている。また、「まちづくり政策コンテ

問

学生の意見だけでなく地域の方々の意見も、観光産業に関わる方々の意見を、より積極的に取り入れる仕組みの構築が必要と考えるが。

答

「町長」「調べや習わし」をよくご存じの地域の方々からの声は重要であることから、

今後も区長会や観光産業関係団体との懇談を行っていききたい。「まちづくり政策コンテスト」については、あり方を検討したい。

問

「土御門史跡」を活用し、名田庄納田終を京都からの玄関口と位置づけ、一帯を周遊できるように整備していく必要があると考えるが、町長の意見を聞きたい。

答

「町長」貴重な史跡と認識しており、それと併せて流星館周辺を京都からの玄関口と位置づけ、活性化させていくことには興味がある。その地点を始めとして、おい町全域に観光として来てもらえるよう、広域での取り組みを併せて考える必要がある。

※田園回帰：都市部から地方へ、人の移住・定住が活性化現象

年頭あいさつ

中央要望

審議内容

一般質問

活動報告

第3セクター(株)おおいと(株)名田庄商会の統合について

町長 事業の活性化・効率化を考えると重要な事と認識している



早川 正己

問 全国的に第3セクターは減少傾向にあり、10年間で約10%の法人が減少している。本町における第3セクターの経営状況はどうか。

答 (町長) 28年度における決算の純利益は「(株)おおい667万5,639円」「(株)名田庄商会314万9,835円」「わかさ大飯マリンワールド(株)2,447万1,400円」「(株)名田庄ウッドイセンター149万259円」「公益財団

法人グリーン大飯農業公社▲10万9,549円」である。いずれの法人も決算上は概ね健全な経営状況であるが、現実には町からの補助金等による補填もあり、厳しい状況の法人もあると認識している。

問 (株)おおいについて幅広く事業展開をしておりますが、現状の人員配置で支障はないのか。

答 (総合政策課長) 閑散期、多忙期があり、その都度アルバイトで対応しておりますが、人員不足はない。
問 正職員の定数を決められているが何名なのか、また根拠は。

答 (総合政策課長) 32名と聞いている。

(副町長) 根拠は把握していない。

問 (株)名田庄商会は、今年度が「経営改善計画」の最終年度となる。改善戦略の成果は上がっているのか。

答 (商工観光振興課長) 28年度は黒字であり、取り組みについては細心の注意を払いながら事業を進めており、流星館等の運営の成果は上がっている。

問 あきない館等の施設の老朽化により修繕費がかさみ、経営を圧迫しないか。

答 (町長) いずれの法人も、第3セクターのメリットを生かしつつ、自らの判断と責任により、徹底した効率化・経営健全化と地域活

答 (町長) 良好な管理を進めるとともに、総合的に勘案し経営努力する。

問 社員の高齢化が進み、社員の募集をしても応募がない。これは他事業所に比べ給料面、労働環境等に原因があるのか。

答 (副町長) 賃金面で他の第3セクターと比べると難しいが、(株)おおいと(株)名田庄商会では初任給は後者が良く、ボーナスでは逆である。流星館では応募があり、現在社員として働いている。

問 第3セクターについて、現状を踏まえた今後の方策は。

答 (町長) いずれの法人も、第3セクターのメリットを生かしつつ、自らの判断と責任により、徹底した効率化・経営健全化と地域活

性化への取り組みが進むよう、指導と関与を行う。各法人においては、税金が投入されていると認識し、経営についての透明性の向上を図る必要があると考えている。

問 優秀な人材の確保と、定期的な人事異動が必要では。

答 (町長) 指摘のとおりである。適材・適所の配置と、必要な人事異動も考えなければならぬ。現場の意見を聞きながら進める。

問 (株)おおいと(株)名田庄商会の企業コンセプトや概念がほとんど一緒で事業展開も似ている。人材の確保、組織の効率化、経営の合理化や安定を考えると、2法人を統合し、組織についても、例えば総務部門、営業部門、施設管理部門、製造部門、販売部門等に

編成し、会社の活性化を図ってもよいのでは。

答 (町長) 過去にも議論になつていくる。事業の活性化や過去の経緯も併せて重要な事と認識している。



(株)おおい、(株)名田庄商会の28年度決算書

防災について町長の考えは

町長 自主防災組織、町民としっかりと取り組み



辻 徹

災害への対応状況について

問 去る10月22日の台風21号接近時において、町内でも、土砂崩れや浸水など大変な被害があった。

災害時対応の、反省点や問題点を検証・検討することは、さらなる町の安心安全に寄与すると思われる。

本郷区・尾内区の903世帯2198人に避難指示が出されたが、町民センターへの避難者数は

66人であった。町としてどのように捉えているのか。

答 (町長) 午後9時10時30分に避難指示を発令した。

発令が夜間であり暴風雨の中を避難する事は、かえって危険である。町民へは、避難所への避難のほか、自宅での垂直避難など、身の安全を確保するように伝えている。

問 垂直避難とは、自宅の2階や3階に避難することだが、有効な対策かどうか、町民に周知されているのか。

避難マニュアルには、垂直避難に関して記載がない。改訂時には記載を

するべきではないか。

答 (総務課長) テレビ等で有効な手段

だと報道されているので、周知されていると考えている。もし徹底されていないのであれば検討する。

避難指示について

問 避難指示は命にかかわる事態に発令されるものであるが、避難指示に対する町と住民の認識にズレがあるのではないか。

答 (総務課長) 今後、住民に説明していく必要がある。

災害対策本部の設置について

問 午後11時に災害対策本部を設置したが、避難指示が発令された後、土砂災害警戒情報が発表された後であり遅すぎた。町民や町職員のためにもできるだけ早く指揮命令系統をはっきりさせるべきである。

答 (副町長) 早い段階において、町長、副町長で対応した。問題なかったと考えるが、早く設置することは大事であるので、今後の教訓としたい。

今後の町の防災について

問 各自自主防災組織が活動していたと思うが、役場と自主防災組織との連絡状況は。

答 (総務課長) 自主的に防災活動を行

う組織であることから、特に連絡は行っていないが、自主避難所開設状況など情報共有に努めた。

問 災害時において、各地区の状況をすぐに把握し、対応することが必要である。そのためにも、災害対策本部をトップに、消防署、消防団と情報を共有しながら、各自自主防災組織と連絡を密にとれる体制を構築すべきではないか。情報や認識を共有するためにも、年1回でも自主防災組織の長と役場担当者との会議の場が必要では。

答 (総務課長) 各自自主防災組織との連絡体制の構築・強化と、区長会や防災研修、消防訓練等を活用し、連携・協力に向けた取り組みを進めていく。

問 各地でイベントが中止になる中、名田庄地域文化祭である里山まつりを開催していた。危険が差し迫った場合に中止を判断できる体制をとっていたのか。

答 (教育長) 実行委員会と名田庄公民館が状況を確認し、実施判断を行った。

今後の防災について

問 今回の経験を踏まえ、今後、町の防災について町長の考えは。

答 (町長) 避難の実効性の向上と情報の迅速な伝達、早め早めの対応が重要である。関係機関を含め、自主防災組織、町民としっかりと取り組んでいく。

年頭あいさつ

中央要望

審議内容

一般質問

活動報告

町政に届けます”

おおい町議会では、町民の皆様への議会活動報告や意見交換を行う場として、毎年「議会報告会」を開催しています。今年も町内4か所で開催しました。

貴重なご意見や厳しいご指摘を頂戴しました。いただいたご意見は今後の議会活動に活かしてまいります。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

議会 報告会

大島会場

- ・原子力災害制圧道路の進捗状況について
- ・原子力災害避難計画について
- ・(仮称)青戸第2大橋について
- ・ホームページの防災河川カメラについて
- ・湾内のごみ漂着について ほか

11/7

- ・広域避難計画について
- ・若狭広域行政事務組合について
- ・災害時の避難場所の指定について
- ・多世帯同居等住まい推進事業について
- ・大飯発電所3・4号機の再稼働判断について
- ・安定ヨウ素剤の配付について ほか

佐分利会場



議会報告会でいただいたご意見・ご質問を抜粋しました。質問への回答は、ホームページに掲載いたします。

本郷会場

- ・おおい町防災計画について
- ・災害時の避難対策について
- ・災害時の避難道路の見直しについて
- ・県外避難先との交流について
- ・自主防災組織について
- ・議会報告会について
- ・中間貯蔵施設について ほか

11/8

- ・路線バス乗継支援モデル事業について
- ・高齢者の外出支援について
- ・パソコンなどの通信速度について
- ・災害時の避難について
- ・高齢者の生活支援について
- ・要援護者の避難について
- ・議会だよりについて ほか

名田庄会場

“皆様のご意見を”

年頭あいさつ

中央要望

審議内容

一般質問

活動報告

出前懇談会

おおい町議会では、町内の団体やサークルの皆様のご要望により、議員が伺って町民の皆様と意見交換する「出前懇談会」を行っています。

今年も「きのこ星のまちおおいネットワーク」からご注文をいただきました。女性から見た町の課題について、参加者の皆様との活発な意見交換の場となりました。出前懇談会のご注文、ありがとうございました。

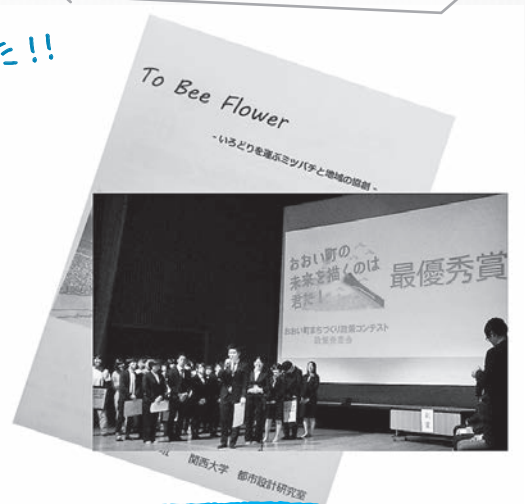
11月21日 総合町民センター
出席議員
尾谷、辻、原田、細川

おおい町で養蜂ができるの？



こんな事を話し合いました!!

まちづくり政策コンテストの発表があり、「ミツバチと地域の協創」をテーマにした提案が最優秀に選ばれました。今後の政策コンテストの在り方や、養蜂についてなど、おおい町のまちおこしについて、活発な意見交換を行ないました。



発電所の工事廃土で町内の田圃がどんどん埋め立てられています。農地のこと、宅地のこと、景観のこと... 話は尽きません。

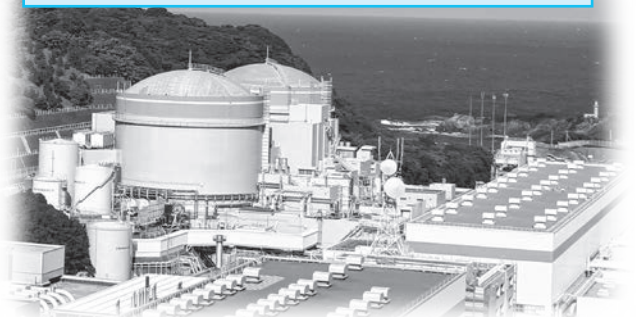
発電所について教えてほしい。

おおい町の農地はどうなるの？



大飯発電所1・2号機の廃炉についての新聞報道を受け、発電所の現状について話し合いました。

*11月21日時点での現状を確認しました。



総務常任委員会活動報告

総務常任委員会は、社会福祉関連等や一般防災等、また、教育関連等の案件を審議する委員会です。

近年自然災害が大規模化していることから、防災に関する知識を深める目的と、また、社会的弱者の現状などをより理解する必要があることから、研修を行いました。

【期 日】平成29年11月16日～17日

【参加者】委員 8名

①自治体防災について

【場 所】インテックス大阪

「自治体防災の最前線について」の講義を受けました。

一番インパクトがあった言葉として「防災は行政に頼ると失敗する」という言葉でした。自分で避難するかどうか考える力を持っている人が少なく、自治体も住民も災害を他人事と考える人が多いということでした。

確かに「自分の身は自分で守る」ということは、最大の

防災意識だと思えます。地域での防災組織を充実させ、自主防災意識の向上が必要であり、災害に対してどう対応するか考える人材の育成に、

行政は努力する必要があるということでした。住民の皆様も「自助」について考えてみましょう。

②福祉政策・発達障害者支援施策について

【場 所】滋賀県庁

滋賀県は障がい者支援においての先進地ということで、支援の取り組みを勉強しました。

「発達障害支援法」に基づき、「発達障害支援センター」を設立して、障がいの特性とライフステージにあわせた支援を提供するため、医療、保健、福祉、教育及び労働等の各関係機関と連携して、きめ細かい支援が行われていました。

産業建設常任委員会活動報告

水産物加工と自然薯の栽培を先進地で学ぶ

産業建設常任委員会は、地域の産業の活性化について、町内の資源を活用した新たな取り組みに対する知識を得ることを目的に、先進地の視察を行いました。

【期 日】平成29年11月13日～14日

【参加者】委員及び議長 7名

水産加工品の生産について、製造工場の加工工程等を見学

【視察先】静岡県焼津市

石原水産マリンステーション

静岡県焼津市は、遠洋漁業の拠点として水産加工業が盛んであり、鯖、鰹、鯖の水揚げはトップレベルです。石原水産では、外国人労働者を雇用し、冷凍の鰹のたたきの量産

化、スーパーや回転寿司へ納品しており、併設するレストランと売店には多くの観光客

が訪れ、漁業、加工業、観光の連携が図られていました。

自然薯栽培から販売までの取り組みについて、農場視察と意見交換

【視察先】静岡県牧之原市

なかじま自然薯園

なかじま自然薯園は、静岡県の独自品種の自然薯にこだわり、ムカゴ栽培から種芋栽培、自然薯栽培と、販売までに3年をかけて生産していました。

販売先は、静岡県内のとろろ料理店やネット販売で、設備等の整備も行政の支援に頼らず、商品のブランド化を確立しつつ、安定経営を行っていました。



広報特別委員会活動報告

公益社団法人日本広報協会が主催する「広報セミナー2017」に参加しました。

【期 日】平成29年11月9日～10日

【場 所】神奈川県横浜市
開港記念会館

【参加者】委員 6名

・「伝え方が9割 伝え方を変えるだけで効果が上がるコトバの選び方」
・デザインを良くするヒントを学ぶ
・話が苦手でもうまくいく「聞く技術」

・地方発PR動画から学ぶ映像広報政策のポイント 自治体の映像広報の現状と課題

・「行きたい」に繋がる映像PR

広報の編集における技術的なポイントの研修に加え、町が現在行っているPR動画を使った町おこしについての課題と検証について学ぶことができるものでした。

議会だよりは、現在は紙で見えていただいておりますが、今

後の社会状況からは、動画を活用することもメリットがあると思われるます。

議会だよりを「町民の皆さんにいかにかに手に取ってもらえるか」「興味を持って読んでもらえるか」といった、読み手の思いを考えながら、紙面作りを行うことが、議会の活性化に繋がるということを学んだ研修でした。



原子力発電対策特別委員会活動報告

【期 日】平成29年10月3日

【場 所】石川県志賀原子力発電所

【参加者】委員及び議長 13名

研修内容

現在、原子力規制委員会による新規基準適合性に係る審査中の北陸電力(株)志賀原子力発電所を視察研修し現状と課題を確認しました。

大飯発電所との大きな相違点は、

○沸騰水型原子炉である。

○タービン建屋直下を走る断層をはじめ、周辺には14の断層等がある。

○集水路、排水路は海底トンネル方式を採用している。

○広大な敷地を有し、社員等はすべて自家用車で構内に入出入りしている

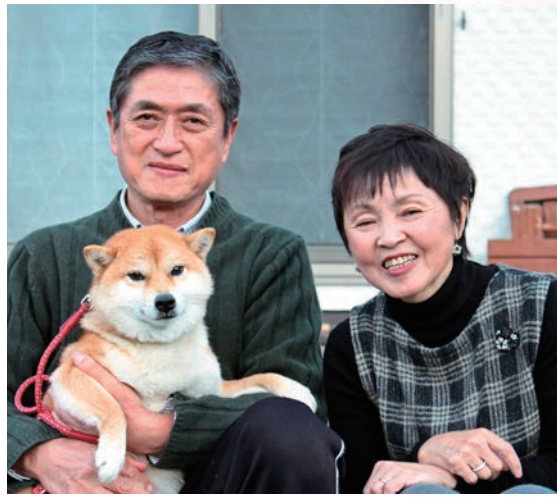
などがあり、安全性確保について慎重な判断が必要です。

今後とも、本委員会では、安全確保に向け現場視察や事業者からの説明を求め、確認を行っていきます。



かがや 輝く人

ものづくりを通して
いろいろな人とつながりたい



名田庄三重区
クラフト工房 アトリエ Cocolo
城口 幸子 さん

今回の輝く人は、クラフト工房を営む、キャンドルアーティストの城口幸子さんをご紹介します。

Q 大阪からのインターンですがきっかけは？

A 私が小学校の校長を

退職するタイミングで移住しました。

Q なぜおい町に？

A 偶然知り合ったおおい町の農業者からお米を買っていたのですが、その方の紹介です。



議会の傍聴にござんせ

行政ポイント
発行事業です 10P

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は3月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

3月定例会
の予定

会 期：2月22日から3月13日まで（20日間）
本会議：2月22日（議案提案理由説明）、3月7日（一般質問）、3月13日（採決）
委員会：予算決算委員会（2月22日・3月2日～6日）、総務・産業建設委員会（2月28日）、原子力発電対策委員会（2月27日） ※日程は変更となる場合があります。

編集後記

皆さんはこの町の魅力をいくつ言えますか？

まちづくりコンテストやまちづくり討論会の中での一コマです。町おこしや活性化を求めている自治体が、地方創生でインターンやUターン支援など、移住定住が成功するかもしれないかは、「担当者が町の魅力を熱く語るか」「住んでいる人が熱い思いを持ってどれだけ参加するか」だそうです。さて：若者にとって魅力ある町になっているでしょうか。

そんなことを考えながら、平成30年の幕開けを迎えました。

皆様にとって素晴らしい一年となります様、お祈り致しますと共に、熱い思いの議会だよりを、本年もよろしくお願い致します。（尾谷記）

広報特別委員会



藤原委員・尾谷委員・辻委員
早川委員・細川委員長・原田副委員長